



ながのはらまち

議会だより

平成27年
7月

第104号

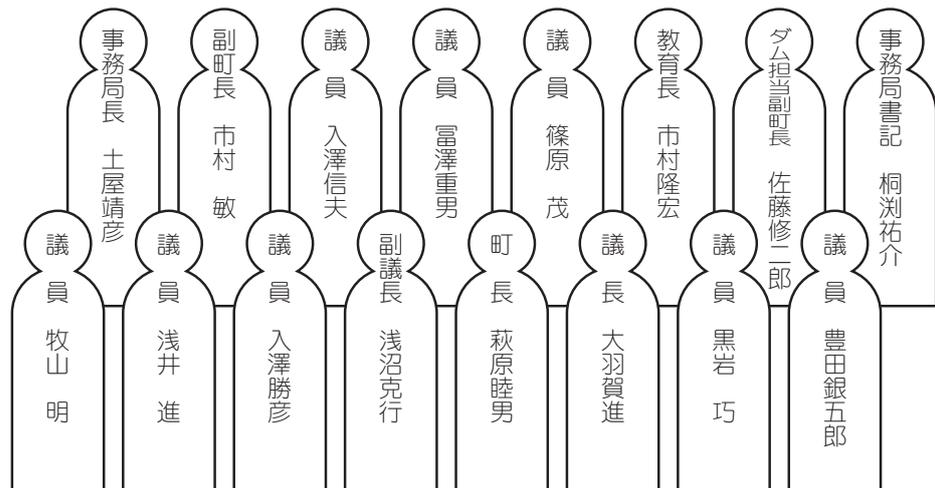
5月臨時会・6月定例会の内容をわかりやすくお伝えします。



新体制となった長野原町議会を、よろしくお願いいたします。

目次

- 議会構成が決まりました・・・2
- 5月臨時会・6月定例会
こんなことが決まりました・・・4
- 請願・陳情の結果・・・6
- ここが知りたい！一般質問・・・9



町議会の新たな体制が決まりました！



議長 大羽賀 進

この度、議員皆様方のご推挙により、再び議長の要職に就くこととなりました。誠に身に余る光栄でございます。
長野原町では八ッ場ダム問題を始め、産業振興、雇用の場の確保、少子高齢化対策など、様々な諸問題を抱えております。こうした諸問題に対し、私たちは地域住民の代表者として地域の声を行政に届け、住み良い町づくりを目指していく所存でございます。
今後とも町議会に対し、ご指導、ご鞭撻賜りますようよろしくお願い申し上げます。



副議長 浅沼 克行

この度、議員皆様方のご推挙により、副議長の要職に就くこととなりました。身に余る光栄であり、深く感謝申し上げますとともに、責任の重さを痛感しております。
大羽賀議長の補佐役として、円滑な議会運営に努力していく所存でございます。
議会議員が一丸となって取り組み、町の発展に向けて努力する覚悟でございますので、町民の皆様方のご指導、ご鞭撻を心からお願ひ申し上げます、就任のご挨拶いたします。

長野原町議会議員の紹介



篠原 茂
(林)



富澤 重男
(大津)



入澤 信夫
(応桑)



浅井 進
(北軽井沢)



入澤 勝彦
(応桑)



黒岩 巧
(北軽井沢)



浅沼 克行
(長野原)



牧山 明
(応桑)



大羽賀 進
(北軽井沢)



豊田 銀五郎
(横壁)

【任期】
平成27年4月30日から
平成31年4月29日まで

総務文教常任委員会 (福祉、民政、教育などの案件を調査する委員会)

委員長 黒岩 巧 委員 篠原 茂 富澤 重男 大羽賀 進
副委員長 浅井 進

産業建設常任委員会 (産業経済、商工観光、土木などの案件を調査する委員会)

委員長 入澤 勝彦 委員 入澤 信夫 浅沼 克行 豊田銀五郎
副委員長 牧山 明

議会運営委員会 (円滑な議会運営を図るための委員会)

委員長 豊田銀五郎 委員 入澤 勝彦 黒岩 巧
副委員長 富澤 重男

議会構成を決定し、条例の改正などを
原案のとおり全員賛成で可決しました。

専決処分

●長野原町税条例の一部を改正する条例

軽自動車税において、燃費性能に応じたグリーン化特例の創設などに伴い、条例を改正しました（下段表参照）。

●長野原町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

課税限度額の引き上げなどに伴い、条例を改正しました。

軽自動車税のグリーン化特例（軽乗用の場合）	
電気自動車等	税率を概ね75%軽減
H32燃費基準+20%達成車	税率を概ね50%軽減
H32燃費基準達成車	税率を概ね25%軽減

※適用期間や軽課年度が別途定められています。
※上記は税条例改正の一例です。

条例制定

●長野原町水源地域における固定資産税の課税の特例に関する条例の一部を改正する条例

水源地域対策特別措置法に関する総務省令が改正されたことに伴い、条例を改正しました。

●長野原町公共物使用等に関する条例の一部を改正する条例

発電用水に係る流水占用料を群馬県の条例に準じて算出を行うことになったため、条例を改正しました。

人事案件

●長野原町監査委員の選任

入澤勝彦議員を選任することに同意しました。
任期は、平成27年5月13日から平成31年4月29日までです。

一部事務組合議会議員

を決めました

一部事務組合とは、複数の自治体が行政サービスの一部を共同で行うことを目的として、設置する組織です。

長野原町は、西吾妻衛生施設組合、西吾妻福祉病院組合の3組合に加入しており、それぞれの加入町村から組合議会議員を選出することになっています。

●西吾妻衛生施設組合

大羽賀 進 議員
浅沼 克行 議員
黒岩 巧 議員

●西吾妻環境衛生施設組合

大羽賀 進 議員
浅沼 克行 議員
黒岩 巧 議員
浅井 進 議員

●西吾妻福祉病院組合

大羽賀 進 議員
浅沼 克行 議員
黒岩 巧 議員

6月定例会

6/4
～
6/12

町営住宅新築工事契約の締結などを
原案のとおり全員賛成で可決しました。

行政報告

●平成26年度長野原町一般会計予算繰越明許費繰越計算書の報告

事業の年度内完了が困難であることから、新エネルギービジョン事業ほか14事業、計8億9683万5千円を平成27年度に繰り越すこととしました。

財産の取得

●ロータリー除雪車（2・2メートル級）1台の購入

【契約の相手方】
日の丸ディーゼル株式会社

【取得金額】
3124万9800円

契約の締結

●林道貝瀬線開設工事

【契約の相手方】
群馬県知事 大澤正明

【契約金額】
8583万5000円

●町営上湯原住宅新築工事

【契約の相手方】
東光建設株式会社

【契約金額】
1億4310万円

●町道大津与喜屋線馬込橋補修工事

【契約の相手方】
東日本旅客鉄道株式会社

【契約金額】
7992万6千円

補正予算

●一般会計

3042万4千円を追加し、総額64億7067万6千円となりました。

主な内容は、4月の人事異動に伴う人件費の補正です。

こんな質問がありました

問

黒岩議員 北軽井沢ミュージックホールの害虫駆除委託料が計上されているが、委託先はどこか。

答

総務課長 専門業者に委託する。施設の修繕や清掃に係る経費は、当初予算に計上済み。

桜岩地蔵尊の屋根の塗装のお願い	北軽井沢区長 川嶋一夫	趣旨採択 (宗教的建造物に該当)
大屋原三地区 防火水槽2基の水漏れ対策のお願い	北軽井沢区長 川嶋一夫	採択 (75%補助)
町道10-69号線 道路拡幅と補修のお願い	北軽井沢区長 川嶋一夫	採択
地蔵堂1号線 スウィートグラス南側から県道大笹北軽井沢線までの道路拡幅のお願い	北軽井沢区長 川嶋一夫	趣旨採択
大屋原1号線 白川ゴルフ倶楽部から送電塔入口までの枝伐採のお願い	北軽井沢区長 川嶋一夫	採択
県道北軽井沢倉淵線から浅間大滝へ通ずる道路の町道認定と舗装のお願い	北軽井沢区長 川嶋一夫	継続審査 (調査後対応)
町道10-2号線と10-3号線舗装補修のお願い	北軽井沢区長 川嶋一夫	採択 (年次計画で実施)
大屋原1号線から甘楽の浅間ハイランドに通じる道路の補修のお願い	北軽井沢区長 川嶋一夫	趣旨採択
町道10-14号線 排水路改修のお願い	北軽井沢区長 川嶋一夫	不採択
大屋原1号線沿いの側溝から町道10-12号線へ流れ落ちる排水路流末堰堤の補修のお願い	北軽井沢区長 川嶋一夫	採択 (関係機関へ要望)
町道10-8号線、10-11号線及び10-16号線の舗装補修のお願い	北軽井沢区長 川嶋一夫	採択 (年次計画で実施)
県道北軽井沢倉淵線や町道からの雨水等流入防止のお願い	北軽井沢区長 川嶋一夫	採択 (関係機関へ要望)
大屋原4号線ほか7路線側溝蓋設置のお願い	北軽井沢区長 川嶋一夫	採択 (年次計画で実施)
大屋原1号線 道路拡幅のお願い	北軽井沢区長 川嶋一夫	趣旨採択
応桑用水滝原線水路補修工事についての陳情	応桑区長 萩原俊明 応桑水利組合長 入澤勝彦	趣旨採択
応桑用水側溝等伏せ替え工事についての陳情	応桑区長 萩原俊明 応桑水利組合長 入澤勝彦	趣旨採択

みなさんの要望はこうなりました — 請願・陳情の結果 —

件名	提出者	結果
北軽井沢で開催されるイベント会場で使用するスーパーハウス購入のお願い	北軽井沢観光協会 会長 浅井進	採択 (30%補助)
産業廃棄物処理場及びバイオマス発電所新設時の紛争予防を目的とした条例制定の請願	福田隆男 紹介議員：牧山明	趣旨採択 (必要性について調査研究)
用水路補修工事についての陳情	応桑区長 萩原俊明	採択 (緊急を要する部分のみ)
U字溝の整備についての陳情	応桑区長 萩原俊明	採択 (一部、年次計画で実施)
U字溝の溝蓋設置についての陳情	応桑区長 萩原俊明	採択
町道側溝補修工事についての陳情	応桑区長 萩原俊明	採択
町道補修工事についての陳情	応桑区長 萩原俊明	採択
小倉桐屋地区消火栓設備設置についての陳情	横壁区長 萩原廣太	採択 (75%補助)
JR羽根尾駅トイレ設置依頼についての陳情	羽根尾区長 黒岩徳三郎	採択 (関係機関へ要望)
洞口地区 国道292号沿い流水対策についての陳情	大津区長 野口善行	採択 (関係機関へ要望)
国道292号 洞口地区内の歩道整備についての陳情	大津区長 野口善行	採択 (関係機関へ要望)
街路灯の器具取り替えについての陳情	応桑区長 萩原俊明	採択 (30%補助)
栗平住民センター修理費補助のお願い	北軽井沢区長 川嶋一夫	採択 (30%補助)

平成26年度事業会計の決算を認定しました

会計名		収入決算額	支出決算額	利益・損失
浅間園 事業会計	収益的	8342万311円	9370万7337円	△1028万7026円
	資本的	0円	0円	0円
浅間上水道 事業会計	収益的	4656万2433円	4411万3276円	244万9157円
	資本的	0円	5873万5800円	△5873万5800円
北軽井沢簡易水道 事業会計	収益的	6865万2929円	7545万3965円	△680万1036円
	資本的	771万9278円	2935万9756円	△2164万478円

3つの特別委員会を 設置しました

特別委員会とは、特定の事件について調査、審査するために設置される委員会です。

● 国県道改良等促進特別委員会

(委員長) 牧山明
(副委員長) 黒岩巧
(委員) 入澤信夫、浅井進、入澤勝彦

● ハツ場ダム対策特別委員会

(委員長) 豊田銀五郎
(副委員長) 浅沼克行
(委員) 篠原茂、富澤重男、大羽賀進

● 災害対策特別委員会

(委員長) 大羽賀進
(副委員長) 浅沼克行
(委員) 篠原茂、富澤重男、入澤信夫、浅井進、入澤勝彦、黒岩巧、牧山明、豊田銀五郎

ここが知りたい!

一般質問

一般質問とは、定例会において、各議員が住民の代表として町の考え方や疑問をたずねることです。

6月定例会では3名が登壇し、町政を問いました。

なお、紙面の都合により、内容を要約して掲載しています。

質問者	質問内容	ページ
浅沼 克行 議員	1. 住宅リフォーム補助金制度の拡充について	10
牧山 明 議員	1. 福祉バス事業の拡充と、地域巡回バスの導入について	11
黒岩 巧 議員	1. 長野原町地域防災計画について 2. 町のホームページについて	12

こんな質問がありました

浅間園

問 浅間園の入館者数が、過去最低となったが、その要因は。

答 産業課長 主な要因は、天候の悪さや浅間園自体の老朽化による。また、団体客は増えているので、個人客の集客の弱さもある。

問 牧山議員 現在、総員何名で運営しているのか。また、労働条件は。

答 産業課長 園長は産業課長が兼任している。専任職員が2名、通年雇用臨時職員が2名、季節間雇用臨時職員(4月から11月まで)が8名。週休2日のシフト制で、勤務時間は午前8時30分

から午後5時15分まで。

問 牧山議員 季節間雇用臨時職員に「オフシーズンの職の幹旋はあるか」と聞いたところ、「無い」とのことだった。対応をお願いしたい。

答 産業課長 前向きに検討したい。

問 牧山議員 監査委員の意見書が分かりづらいので、検討してもらいたい。

答 監査委員事務局長 検討したい。

問 牧山議員 キャッシュフロー計算書の説明を。

答 副町長 当年度純利益は1117万9千円の赤字だが、一般会計からの繰入金270万円を投入したことにより、現金ベースでは445万9千円残っているという意味。

問 牧山議員 資金期首残高とは。

答 副町長 平成26年度当初の現金ベースを意味する。

問 牧山議員 仮に赤字が出た場合、資金期末残高の2375万3千円から補填されるといふ解釈か。

答 副町長 あくまで公営企業会計上では赤字になる。



浅間火山博物館

ここが知りたい!

一般質問



浅沼 克行 議員

問 町内別荘のリフォームにも補助を

答 経済活性化の観点から検討する

問 地元企業の育成や住宅環境の向上を目的に行っている「住宅改修等助成金交付制度」は、多くの町民に利用される3年目を迎える。

住宅改修全般に利用でき、町内施工業者に限定していることで地域の活性化にも役立っている。そこで、当制度の対象を町内別荘のり

フォームにまで拡充してはどうか。また、空き家で崩壊寸前の別荘の現状と、解体する場合の補助金制度を創設する考えは。

答 町長 住宅改修等助成金交付制度は、町民の生活環境の向上を図るとともに、緊急地域経済対策の一環とし

て住宅関連産業を中心とした地域経済の活性化を促進するため、平成24年4月から平成27年3月までの3年間と期間を定め、実施してきた。この間の交付件数は72件、交付金額は101万7千円に及んでおり、継続要望があったことから3年間延長したところ。

要綱の趣旨の一つとして、生活環境の向上がある。別荘滞在という比較的短期間の生活環境と、町民の皆さまが年間を通じて居住する生活環境では、同等扱いでなくとも良いと考えられる。しかし、地域経済活性化の観点からは、検討する必要がある。

現在、長野原町に建築されている別荘は約2千戸あり、そのうち定期的に利用されている別荘は約400戸である。危険な別荘は現状の把握が難しく、戸数は掴みきれない。別荘に限らず、倒壊や火災の恐れなどのある空き家対策については全国的に問題となっており、現在、国において空き家等対策の推進に関する特別措置法が公布されている。これは、治安や防犯上の問題のある空き家の対策や、利用できる空き家の有効活用について促進するもの。嬭恋村では、放置され老朽化した別荘の解体補助金制度を定めている。周囲に及ぼす危険性や、周辺環境と景観等を含め検討していく。

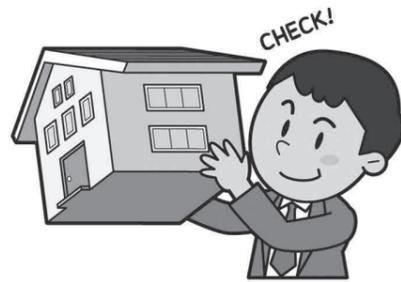
問 別荘も対象にするか、一般住宅の空き家も調査し、再び活用できるような状況になればいい。

答 町長 交付対象要件として、「1年以上住民登録している者」とあるので、交付対象となる方もいると思われる。まずは、別荘地の現状把握が大切。今年度から空き家対策を考えているので、並行して前向きに検討していきたい。

問 別荘だけでなく、一般住宅の空き家も調査し、再び活用できるような状況になればいい。

答 町長 交付対象要件として、「1年以上住民登録している者」とあるので、交付対象となる方もいると思われる。まずは、別荘地の現状把握が大切。今年度から空き家対策を考えているので、並行して前向きに検討していきたい。

問 町長 空き家問題には真剣に考えていかねければならないと理解している。



6月1日から地域おこし協力隊を受け入れ、空き家対策に従事してもらっている。

ここが知りたい!

一般質問



牧山 明 議員

問 地域巡回バスの導入を

答 目的や運行形態を検討したい

長野原町も年々人口が減り、集落の維持が困難になっているところもある。

先の統一選の時も「今は運転ができるから何とかここにいくけど、何年もしないうちに運転ができなくなる。そうしたら、ここにはいられない」という高齢者の声を多く耳にした。

地域の活性化や集落の維持は、そこに住んでいる人々の日々の暮らしが成り立ってこそだと思う。

町は、福祉バス事業の拡充を行い、誰でも利用できる地域の巡回バスの導入を急ぐべきだと思うが。

町長 日本はみない高齢化社会を迎えており、長野原町も例外ではなく、3人に1人が65歳以上という状況になるうとしている。このような中、現在、高齢者及び障害者の通院支援を目的とした福祉バス事業を、平成21年度から実施している。この福祉バス事業は、町内を4コースに分け、月に2回運行されており、利用者数はコースによってバラツキがあるものの、平成26年度はのべ119人となっている。福祉バス事業の拡充については、利用実績や利用者の声を踏まえ、検討していきたい。

問 現在、原町や洪川、前橋など町外の医療機関に行く場合の交通手段が無い。

先に策定された「長野原町高齢者福祉計画及び第6期介護保険事業計画」の冒頭の町長のあいさつに「高齢者が住み慣れた地域で安心して自分らしい暮らしを続けることができよう・・・」とあるが、非常に重要なことだと思う。既に実施している福祉バス事業を拡充することで、他の公共交通機関との組み合わせによっては町外や他県への通院も

答 町長 現在、国はコンパクトシティを推し進めようとしているが、私は反対である。集落を維持する方策を考えたい。そのためには、交通弱者の足を考えることが必要最低限だが、費用がかかることも確かなので、検討していきたい。

問 計画のあいさつに「自助・互助・共助・公助の効果的な取り組みを・・・」とあるが、人口が減少し、高齢化が進んだ集落では、自助はおろか互助すら難しくなっている。これらが全て揃って、高齢者ばかりではなく障害者や子どもたちが安心して住めるような町にすることが、活性化に繋がると思う。

答 町長 私は、自分たちのことは自分で守るといふ想いを忘れてほしくないという意味を込めて、この言葉を選んだ。福祉バスのことは地区別懇談会でも一番多く要望があり、私自身も就任当初から声を上げている。より良いスタートが切れるよう、今年度は準備段階と捉え、ご理解いただきたい。

ここが知りたい!

一般質問



黒岩 巧 議員

地域防災計画の活用は

問 より分かりやすい資料を配布予定

また、避難訓練や要配慮者について、どう考えているのか。

答 町長 ご指摘のとおり、この最近地震や噴火が多発し、各地に様々な被害をもたらしている。

昨年、御嶽山の噴火や長野県北部地震、蔵王山、箱根山、浅間山の噴火警戒レベルの引き上げ、口永良部島新山の噴火、小笠原沖地震など、地震、噴火が頻発している。今年3月に策定した「長野原町地域防災計画」をどのようにに活用し、広報していくのか。

長野原町では、このような災害に備えて予防対策を行い、有事の際は町及び関係機関が住民の生命、身体及び財産を守ることを目的に、防災計画を策定した。土砂災害ハザードマップとともに、近日常に掲載する予定。また、被害を最小限に抑えるためには、町民全てが災害に対する予防を知っておく必要があると思うので、より理解しやすい資料を作成し、全戸に配布したいと考えている。

避難訓練については、現在羽根尾区において、群馬県及び群馬大学と協働で、住民主体の自主避難のルールづくりを進めており、夏頃には実施避難訓練を実施する予定。今後は、この手法を各地に広げていきたい。要配慮者については、避難行動要支援者名簿の作成を進め、災害発生時の迅速な避難支援のための情報提供を、消防関係

者や民生委員を通じて進めていきたい。

問 防災計画は膨大な量なので、理解しやすいリーフレットを全戸に配布することは、とても良い。

浅間山の噴火警戒レベルが上がった。夏の観光シーズンを前に、痛手になりかねない。観光客が訪れても大丈夫だとアピールできるような、避難訓練を行うことは大切である。

現在、学校単位では避難訓練が実施されているが、地域住民や関係機関を巻き込んだ避難訓練は実施されていない。東日本大震災が発生した際、宮城県釜石市では約千人の方が亡くなった。しかし、犠牲者のうち、小中学生は5名のみだった。釜石の奇跡と言われているが、これは群馬大学の片田教授が8年もの間、

児童に防災教育を行ってきた結果である。長野原町も浅間山を抱えているが、いざというときどういう行動を取ればいいのか、防災計画だけではなく実地で訓練する必要がある。

口永良部島での噴火でも、学校の先生方は平日頃から避難する方向に車を向けて停車させていた。また、長野県白馬村を襲った地震の際も、地域のコミュニティがしっかりとしていた。災害発生時、どこに避難すればいいのか分からないといった声も聞くので、周知徹底を。また、防災無線を取り付けていない住宅が多くあるので、回覧などで周知してほしい。

現在、土砂災害の防災訓練を羽根尾区でモデル的に実施している。他の区にも広げていきたい。火山災害の防災訓練については、嬭恋村が広域的な訓練の実施を検討している。情報を共有していきたい。

フェスタに、地域住民の防災意識を高めるための催しを取り入れていきたい。

町ホームページのリニューアルを

答 リニューアルしたいと考えている

問 2年ほど前に町のホームページをリニューアルしたが、更に使い勝手の良いホームページにしてほしいと訴えてきた。町の情報を発信する重要なツールであるホームページのリニューアルについて、町長の考えは。

答 町長 自治体のホームページは、様々な情報発信の場や必要な情報を得るためのポータルサイトとしての役割を担い、近年では町のイメージに直結するような「町の顔」でもあると考えている。

現在の町のホームページは、「アイ・

シティ」というソフトを利用し、職員がページの作成、更新作業を行っている。また、平成25年3月にはデザインの変更を行い、現在も各課からの新たな情報を掲載しているところ。今後は、情報量の多い自治体共通の「使い勝手の悪さ」の改善に努めるとともに、シンプルで好印象を与えるようなホームページのリニューアルしたいと考えている。

現在、他の自治体のデザインなどを参考に、デザイン業者の洗い出し、業務仕様書やイメージ案の作成作業を進めているが、費用面を含め業者選定をした後の

更新作業となるので、しばらくお待ちいただきたい。

問 現在のホームページは、使い勝手が悪い。

軽井沢町のホームページは、目的のページに1クリックで行ける。一方、長野原町のホームページは、例えば防災関係のページに行こうとすると、最低2クリックしなければ辿り着けない。情報が更新されていないホームページには、見に行かなくなる。

答 町長 使い勝手が悪いという声は、町民からも聞いている。色々な自治体のホームページを参考にしながら、改善していきたい。

問 パツと見た瞬間に、カッコいいと思うホームページを作ってほしい。

答 町長 リニューアルまで、お待ちいただきたい。



軽井沢町ホームページ

事業の進捗状況を現地で確認

ハッ場ダム事業現場を視察しました

6月12日（金）、ハッ場ダム事業現場を全議員で視察し、国土交通省ハッ場ダム工事事務所の案内の下、本体建設工事掘削作業や大柏木トンネル、骨材プラントヤード造成工事などの事業の進捗について説明を受けました。



1. 本体建設工事左岸側（旧国道145号）
2. 本体建設工事右岸側
3. 骨材プラントヤード造成工事現場（東吾妻町大柏木地区）

9月定例会の日程

次回定例会は、9月4日（金）、11日（金）、18（金）に開催予定です。
基本、午前10時開会ですが、都合により変更となる場合があります。

傍聴のご案内

議会本会議は、どなたでも傍聴することができます。予約は不要です。傍聴を希望される方は、本会議当日に直接議場（長野原町役場2階）までお越しください。

編集後記

梅雨明けの便りが待ち遠しい今日この頃です。

浅間山の噴火警戒レベルが、レベル1から2に引き上げられました。これから夏の観光シーズンとなりますので、今後の状況を注視していきたいと思えます。

先の町議会選挙後、議会広報も新体制となりました。これからも町民の皆さまに議会の情報を出来るだけ早く、詳細にお知らせできるようにしていく所存でございます。

広報委員一同頑張っていくしますので、今後ともよろしくお願いたします。

広報委員

委員長	浅沼 克行
委員	牧山 明
	浅井 進
	富澤 重男